

大統領選 と アメリカ音楽

講師：大和田 俊之（おおわだ・としゆき）氏
（慶応義塾大学法学部 教授）



略歴

慶応義塾大学法学部教授。専門はアメリカ文学、ポピュラー音楽研究。
『アメリカ音楽史』（講談社）で第33回サントリー学芸賞受賞。他に
『アメリカ音楽の新しい地図』（筑摩書房）、編著『ポップ・ミュージックを語る10の視点』（アルテスパブリッシング）、長谷川町蔵との共著『文化系のためのヒップホップ入門1、2、3』（アルテスパブリッシング）など。2020年-21年ハーバード・イェンチン研究所客員研究員。

講演要旨

アメリカを代表するR&Bシンガー、ビヨンセが2024年3月にリリースしたカントリーミュージックのアルバム『カウボーイ・カーター』は音楽業界を中心に大きな論争を巻き起こした。本講演では11月の大統領選挙を前に、本作を起点に2010年代のブラック・ライヴズ・マター運動やMeToo運動などを振り返りつつ、アメリカ文化研究の動向を参照しながら音楽と人種、そして政治をめぐる諸問題についてあらためて考察したい。

日時： 2024年6月28日（金） 16:40～18:10

場所： 同志社大学烏丸キャンパス 志高館SK110教室 （参加無料・事前申込不要）

※合理的配慮が必要な方は、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ：同志社大学アメリカ研究所事務室／IIAS Doshisha University
ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp

交通アクセス



対面のみ

どなたでもご参加いただけます